



山王台だより11月号

令和2年10月30日
横浜市立山王台小学校
〒235-0016
横浜市磯子区磯子5丁目2-1
TEL045(755)1107

【学校教育目標】自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる

熱い思い 未来につなぐ 優勝旗

校長 志田 一彦

今年の運動会は、天候の影響で予定よりも1日遅れでの実施となりました。保護者の皆様の温かいご声援、ご支援、ありがとうございました。

今年度は「創立40周年記念運動会」として、大勢の保護者や地域の方々のご参観のもと、子どもたちが活躍する姿をご覧いただく予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、種目は、各学年「徒競走」と「団体演技」のみとして内容削減、時間短縮を図り、参観者も各ご家庭2名までと制限させていただきました。赤組白組の勝ち負けありませんでした。あらゆる面でこれまで経験したことがない「特別な運動会」となりました。

子どもたちにとっては、楽しみにしていた種目がなくなり、また、保護者や地域の皆様にとっては、子どもたちが活躍する姿をご覧いただく場面が減りましたが、趣旨をご理解いただき、様々な面でご協力いただいたことに感謝申し上げます。

開会式で、子どもたちには「特別な運動会になりますが、大切なことは変わりません。それは『全力を尽くすこと』『友達と協力すること』です。」という話をしました。

子どもたちがひとつのことに真剣に打ち込む姿は、応援している私たちの胸を打ち、私たち自身が励まされ、勇気づけられます。今年も子どもたちは、力いっぱい走ったり踊ったりして、私たちに感動を与えてくれました。種目数が少なかった分、出場する演技や徒競走への思いは強かったのかもしれない。

一人ひとりが積み重ねてきた努力があるからこそ、運動会当日の活動が心に残る深い体験となって子どもたちを育てていくのだと思います。運動会に向けてみんなで励まし合い、協力し合って取り組んだ経験を、そして、そのことによって得られた達成感、充実感を大切に、これからの教育活動に活かしていきたいと思えます。

さて、毎年、閉会式では、勝った組の応援団長に優勝カップを、敗れた組の応援団長には準優勝楯を渡しています。それぞれの組の応援団長がカップや楯を掲げながら歓喜したり涙したりする姿は、手渡している私自身も大変感動し、熱いものがこみ上げてきます。

優勝カップは、山王台小学校の運動会の歴史そのものです。39年間、様々なドラマを繰り広げた子どもたちの熱い思いが優勝カップを通して引き継がれてきました。

今年は、その優勝カップを新しい優勝旗に変更しました。優勝旗は創立40周年の記念品として、PTAの周年行事積立金から購入していただいたもので、その他にも準優勝楯、6年生のソーラン節の法被を購入していただきました。閉会式では、優勝旗を赤組白組の両応援団長に、準優勝楯を両副団長に手渡しました。

来年の運動会からは、優勝した組には40周年記念の優勝旗が手渡されることとなります。

今年の運動会のスローガンは「みんなのスマイル 未来につなげ 40周年」でした。未来につなぐものとして、優勝旗もそのひとつとなりました。

来年の運動会では、どんなドラマが展開されるのでしょうか。子どもたちが全力で走り、踊り、応援する。心が揺さぶられるほどの熱い思いが溢れ、歓喜し、涙する。

40周年の優勝旗はそんな子どもたちの姿を見届けながら、50年、60年と未来につないでいきます。